

簡易な収入見込額の申立書 (申請者本人用)

【家計急変者 (その他)】

記入例

○「低所得者」欄に「」を記入してください。
 ○下記の「収入内訳」欄に「」を記入してください。
 ※申請者 **新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、収入が児童扶養手当の対象となる水準で推移する見通しである場合に✓してください。**
なお、事情により提出していただく申請書が異なりますので、お問い合わせください。

①下記にチェック ()

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が児童扶養手当の対象となる水準で推移する見通しである申立書を提出しています。

→【要件1】①にチェックが入っていること。

※申請者または申請者と生計を同じくする以下の方が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、収入が児童扶養手当の対象となる水準で推移する見通しである旨の申立書を提出している場合にチェックしてください。
 ・申請者の配偶者
 ・申請者の父母、祖父母、子、孫などの直系血族または兄弟姉妹
 (※)申請者本人が児童の父または母の場合は、これらの方が申請者と同居していることが原則となります。
 ※上記の申請者と生計を同じくする方がいる場合には、「簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用)」も併せてご提出ください。

申立書を提出するに至った事情以降の月を記入してください。

②申請者が申立書を提出するに至った事情以降の月の収入内訳を記入してください。その合計額をご記入ください。

令和 4 年 6 月		円
養育費【A】	0	円
給与収入【B】	221370	円
事業収入または不動産収入【C】	0	円
年金相当収入【D】 【a-b】	103630	円
年金収入【a】	118910	円
児童扶養手当相当額【b】	15280	円
収入合計額【A+B+C+D】	325000	円

離婚をして、養育費を受け取っている場合に記入してください。

収入額がわかる書類(給与明細書等)をご準備いただき、当該月の収入額を記入してください。

ご自身が自営業を営んでいる又は家賃収入を得ているなどの場合に記入してください。

年金支給額がわかる書類(年金決定通知書等)をご準備いただき、当該月に受給した年金受給額を記入してください。
 なお、当該月に支給がない場合(2か月に1回支給で支給月ではない場合など)は、年間支給額から1か月分を算出して記入してください。

合、下記の児童扶養手当相当額早見表を確認いただき、該当する金額をご記入ください。

収入が無い場合は、別途申立書を提出していただきます。

※上記以外の収入については記載不要です。収入が無かった月で申請される場合は、別途収入の状況等についての申立書が必要です。

※児童扶養手当相当額早見表(月額)

申請日時点での児童数	支給額(月額)
児童0人	0円
児童1人	10,180円
児童2人	15,280円
児童3人	18,340円
児童4人	21,400円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに3,060円(月額)を加算してください。

× 12

左の表から申請時点での児童数に対応する支給額(月額)を記入してください。

③②の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額	3900000	円
---------	---------	---

→扶養親族が1人の場合には、③が365万円未満であれば【要件2】も、④の記載は不要です。

上段の青枠の養育費【A】・給与収入【B】・事業収入又は不動産収入【C】・年金相当収入【D】の合計額を12倍した金額を記入してください。

(次ページに続きます)

④要件に該当するか確認してください。

(1)以下のフローチャートにより、収入基準を選択してください。

属性	<input checked="" type="checkbox"/> 父母	<input type="checkbox"/> 父母以外の養育者
----	--	-----------------------------------

申請者が、『父母』または『父母以外の養育者』のいずれかが該当する方に✓を入れてください。

申請者が、『父母』または『父母以外の養育者』のいずれかに該当する児童の養育者ですか。
 ・死亡または生死不明かつ母がない児童
 ・児童
 ・児童が1年以上拘禁されている児童
 ・児童が1年以上拘禁されている児童
 ・児童が1年以上拘禁されている児童
 ・児童が1年以上拘禁されている児童
 ・母が婚姻によらないで懐胎した児童に該当するかどうか明らかでない児童

YES

収入基準A	収入基準B
-------	-------

(2)申請者が生計を同じくし養っている親族または養っている親族以外の児童の氏名をご記入ください。【☆】

収入基準Aの方			収入基準Bの方		
	フリガナ	該当する場合は◎または○		フリガナ	該当する場合は○
	氏名	16歳以上23歳未満の親族 (◎) 70歳以上の親族、配偶者 (○)		氏名	70歳以上 (配偶者以外)の親族
1	カスミ イチロウ 霞 一郎	◎			
2	カスミ ヨシコ 霞 良子	◎			
3					
4			4		
5			5		

申請日時点での税法上の扶養となっている人を記入してください。
 なお、年齢についても申請時点で判定してください。

(3) (2)でご記入いただいた方の人数にチェックをしてください。

(2) (2)で記入した人数に該当する欄に、✓をした		収入基準額	(2)の人数にチェックしてください。		収入基準額
<input checked="" type="checkbox"/>		3,114,000円	<input type="checkbox"/>	0人	3,725,000円
<input type="checkbox"/>	1人	3,650,000円	<input type="checkbox"/>	1人	4,200,000円
<input checked="" type="checkbox"/>	2人	4,125,000円	<input type="checkbox"/>	2人	4,675,000円
<input type="checkbox"/>	3人	4,660,000円			5,000,000円
<input type="checkbox"/>	4人	5,070,000円			5,000,000円
<input type="checkbox"/>	5人	5,530,000円			5,000,000円
<input type="checkbox"/>	人	円			円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

(4)要件に該当するかの計算をしてください。

i (3)で選択した基準額	4,125,000円	
ii (2)の◎の数×150,000円	300,000円	
iii (2)の○の数×100,000円	0円	
収入基準額 (i + ii + iii)	4,425,000円	
	∨	
年間収入見込額 (表面の③)	3,900,000円	

記入例では、
 上段の(2)で◎が2個なので
 $2 \text{個} \times 150,000 \text{円} = 300,000 \text{円}$
 また、○が0個なので、
 $0 \text{個} \times 100,000 \text{円} = 0 \text{円}$
 を記入します。

年間収入額が収入基準額を下回っているので、【要件】を満たしています。

※年間収入額が収入基準額を上回っていても、所得で要件を満たせば、支給されます。

→【要件2】③の年間収入見

※表面の【要件2】を満たさない場合でも、「簡易な所得」

【確認事項】各項目のチェック欄(□)に『✓』を入れていただき、氏名をご記入ください。

- 【要件】に該当します。 確認事項すべてに✓をし、申請年月日を記入して、自署してください。
- 今後1年間に収入の多い時期があることが明らかで、収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかでないもの
- 本申立の内容に相違ありません。

令和 4年 7月 1日

申請者氏名

霞 花子